

- 1 承久の乱の後、初代の六波羅探題として京都に留まり、のちに3代執権となって御成敗式目を定めた人物は誰？
 ① 北条政子 ② 北条時宗 ③ 北条義時 ④ 北条泰時
- 2 『枕草子』や『方丈記』と並び、日本文学における重要な3つの随筆をまとめて何という？
 ① 五街道 ② 三都 ③ 三大随筆 ④ 五畿七道
- 3 鎌倉時代に時宗を開き、踊り念仏で教えを広めた人物は誰？
 ① 一遍 ② 日蓮 ③ 親鸞 ④ 法然
- 4 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？
 ① 唱題 ② 踊り念仏 ③ 座禅 ④ 念仏
- 5 『方丈記』において、乱世の出来事を通じて描かれた仏教的な思想を何という？
 ① 浄土信仰 ② 無常観 ③ 末法思想 ④ 現世利益
- 6 鎌倉時代後半、分割相続によって領地が細分化し、経済的に苦しくなった状態を何という？
 ① 分断 ② 衰退 ③ 繁栄 ④ 困窮
- 7 鎌倉幕府の重要職であり、土地の管理や年貢の徴収、裁判などを行って現地の武士を支配した役職は何という？
 ① 地頭 ② 守護 ③ 国司 ④ 執権
- 8 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？
 ① 武家諸法度 ② 建武式目 ③ 貞永式目 ④ 公事方御定書
- 9 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒を目指して挙兵し、敗北した事件を何という？
 ① 承久の乱 ② 保元の乱 ③ 元寇 ④ 平治の乱
- 10 1221年に、朝廷の権力を取り戻すために鎌倉幕府を倒そうと挙兵した人物は誰？
 ① 後醍醐天皇 ② 後深草天皇 ③ 後白河上皇 ④ 後鳥羽上皇
- 11 日本初の武家法である『御成敗式目』を制定した、鎌倉幕府の第3代執権は誰？
 ① 北条時頼 ② 北条貞時 ③ 北条泰時 ④ 北条時房
- 12 鎌倉時代末期に、御家人の困窮や荘園制度の混乱の中で、幕府に従わず力で支配しようとした武士たちを何という？
 ① 守護 ② 悪党 ③ 御家人 ④ 地頭
- 13 鎌倉時代に制定された、武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定めた武士独自の法を何という？
 ① 大宝律令 ② 御成敗式目 ③ 建武式目 ④ 分国法
- 14 法然が掲げた、ただ念仏を唱えるだけで救われるという教えを何という？
 ① 専修念仏 ② 護国信仰 ③ 唱題 ④ 座禅
- 15 執権の北条泰時が御成敗式目を制定したのは何年？
 ① 1192 ② 1185 ③ 1232 ④ 1333
- 16 1221年に幕府打倒を計画し、承久の乱を起こした上皇は誰？
 ① 後白河上皇 ② 崇徳上皇 ③ 白河上皇 ④ 後鳥羽上皇



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	北条泰時 は、北条義時の長男として活躍し、乱の直後に京都に六波羅探題を設置して政治基盤を固めました。		4 北条泰時	☐
2	『枕草子』（清少納言）、『方丈記』（鴨長明）、『徒然草』（吉田兼好）の3つを総称して「 三大随筆 」と呼びます。		3 三大随筆	☐
3	一遍 は、踊りながら念仏を唱える「踊念仏」を行い、全国を旅して信仰を広めました。		1 一遍	☐
4	「 踊り念仏 」は、楽器の音に合わせて歌い踊りながら念仏を唱えるという、非常に活動的な布教の形です。		2 踊り念仏	☐
5	無常観 とは、この世のすべての存在は常に変化し、永遠に続くものはないという仏教の教えです。		2 無常観	☐
6	限られた土地からの収穫だけでは、幕府への奉公や軍役の準備、生活費を賄うことが困難になり、多くの御家人が借金をして苦しい生活を送るようになりました。		4 困窮	☐
7	地頭 は、荘園や公領に置かれ、年貢を徴収したり、警察の役割を果たしたりして、現地での土地支配を強めました。		1 地頭	☐
8	制定された1232年の元号が「貞永」であったため、御成敗式目は「 貞永式目 」とも呼ばれます。		3 貞永式目	☐
9	1221年、後鳥羽上皇が幕府の倒幕を狙って挙兵した事件を 承久の乱 と呼びます。		1 承久の乱	☐
10	後鳥羽上皇 は、北条義時追討の院宣を出し、倒幕を試みました。		4 後鳥羽上皇	☐
11	北条泰時 は、御家人の利益を守り、争いを解決するために「御成敗式目」を制定しました。		3 北条泰時	☐
12	「 悪党 」とは、当時の法や幕府の秩序に従わず、荘園の年貢を奪うなど実力行使を行う武士たちを指します。		2 悪党	☐
13	それまで武士の間で行われてきた「武士社会の慣習」を基に、裁判の基準が文章化されました。		2 御成敗式目	☐
14	専修念仏 は、複雑な修行や学問を必要とせず、ただ「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えるだけで、阿弥陀仏の救いを受けて浄土へ往生できるという教えです。		1 専修念仏	☐
15	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。		3 1232	☐
16	後鳥羽上皇 は、自らを支持する武士たちを集めて幕府軍への反撃を試みました。		4 後鳥羽上皇	☐

言えなかった用語ノート